

# サウル王の失敗

シリーズ～預言者の声～

2022/2/6

# 先週のおさらいクイズ

問) イスラエルの民が仕えていた異教の神は？

答) バアルとアシュトレト

問) ペリシテ人が攻め込んで来たとき、主はどのようにしてペリシテ人を混乱させましたか？

答) 雷鳴をとどろかせた

問) その日の記念にサムエルが立てた石の名前は？

答) エベン・エゼル

問) サムエルの晩年にイスラエルの民が犯したもう一つの罪とは？

答) 王を求めること

# イスラエル最初の王

- 民の要求に応じて、主なる神は王となる人物を選ばれた
  - 最小の部族であるベニヤミン族から
- 隠れていた大男
  - 「次にキシユの息子サウルがくじで選び出された。人々は彼を捜したが、見つからなかった。」10:22
  - 「サウルが民の真ん中に立つと、民のだれよりも肩から上の分だけ背が高かった。」サムエル記上10:23
- サムエルによる宣言
  - 「サムエルは民全体に言った。『見るがいい、主が選ばれたこの人を。民のうちで彼に及ぶ者はいない。』民は全員、喜び叫んで言った。『王様万歳。』」24

# イスラエル最初の王

- 民の要求に応じて、主なる神は王となる人物を選ばれた
  - 最小の部族であるベニヤミン族から
- 隠れていた大男
  - 「次にキシユの息子サウルがくじで選び出された。人々は彼を捜したが、見つからなかった。」10:22
  - 「サウルが民の真ん中に立つと、民のだれよりも肩から上の分だけ背が高かった。」サムエル記上10:23
- サムエルによる宣言
  - 「サムエルは民全体に言ひ、『見よがいい、主が選ばれたこの人を。民全体は大きいが気は小さい』民は全員、喜び叫んで言つた。『工柰乃戚。』」24

# サウル王による最初の勝利

- ギレアドに攻め込んできたアンモン人
  - ギレアドの人々は和平を望んだが、アンモン人はギレアド全員の右目を要求した
- 助けを求めたギレアドの人々
  - 「使者はサウルのいるギブアに来て、事の次第を民に報告した。民のだれもが声をあげて泣いた。」11:4
- サウルの指揮の下、イスラエルは戦う
  - 「民は主への恐れにかられ、一丸となって出陣した。」
  - 「翌日、サウルは民を三つの組に分け、朝の見張りの時刻にアンモン人の陣営に突入し、日盛りのところまで彼らを討った。」

# サムエル記上13章5～15節

ペリシテ軍は、イスラエルと戦うために集結した。その戦車は三万、騎兵は六千、兵士は海辺の砂のように多かった。彼らは上って来て、ベト・アベンの東、ミクマスに陣を敷いた。イスラエルの人々は、自分たちが苦境に陥り、一人一人に危険が迫っているのを見て、洞窟、岩の裂け目、岩陰、穴蔵、井戸などに身を隠した。ヨルダン川を渡り、ガドやギレアドの地に逃げ延びたヘブライ人もあった。しかし、サウルはギルガルに踏みとどまり、従う兵は皆、サウルの後ろでおののいていた。サウルは、サムエルが命じたように、七日間待った。だが、サムエルはギルガルに来なかった。

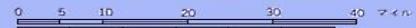
兵はサウルのもとから散り始めた。サウルは、「焼き尽くす献げ物と和解の献げ物を持って来なさい」と命じて、焼き尽くす献げ物をささげた。焼き尽くす献げ物をささげ終えたそのとき、サムエルが到着した。サウルは彼に挨拶しようとして迎えに出た。サムエルは言った。「あなたは何をしたのか。」サウルは答えた。「兵士がわたしから離れて散って行くのが目に見えているのに、あなたは約束の日に来てくださらない。しかも、ペリシテ軍はミクマスに集結しているのです。ペリシテ軍がギルガルのわたしに向かって攻め下ろうとしている。それなのに、わたしはまだ主に嘆願していないと思ったので、わたしはあえて焼き尽くす献げ物をささげました。」

サムエルはサウルに言った。「あなたは愚かなことをした。あなたの神、主がお与えになった戒めを守っていれば、主はあなたの王権をイスラエルの上にもいつまでも確かなものとしてくださっただろうに。しかし、今となっては、あなたの王権は続かない。主は御心に適う人を求めて、その人を御自分の民の指導者として立てられる。主がお命じになったことをあなたが守らなかったからだ。」



# サウル王国

B.C. 1020~1000頃  
Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N. Y.



- 2 一年中流れる川
- 季節によって流れる川
- 首都
- イスラエル軍
- イスラエルの敵軍
- 最大時のサウル王国

ペリシテ軍は、イスラエルの平原を通り、イスラエルを侵襲した。イスラエル軍は敗北し、サウルはギルボア山で死んだ。

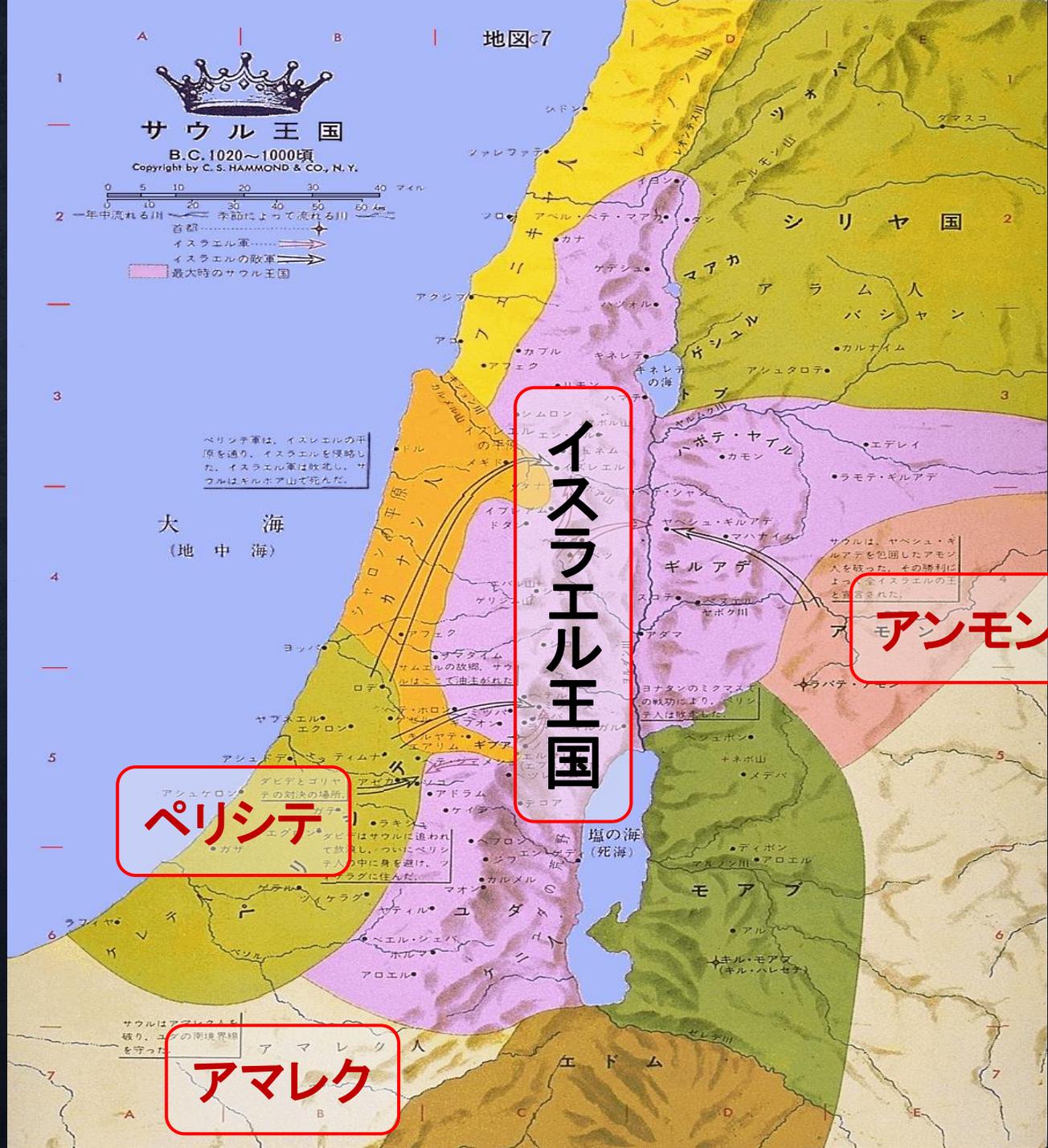
大海  
(地中海)

イスラエル王国

ペリシテ

アンモン

アマレク



# ペリシテ軍の総攻撃

- **ペリシテの大軍が攻めてきた**
  - 「戦車は三万、騎兵は六千、兵士は海辺の砂のように多かった」
- **恐れて逃げ惑う急造の軍隊**
  - 「洞窟、岩の裂け目、岩陰、穴蔵、井戸などに身を隠した。ヨルダン川を渡り、ガドやギレアドの地に逃げ延びたヘブライ人もあった」
- **サウル王は踏みとどまってサムエルを待った**
  - 「サウルはギルガルに踏みとどまり、従う兵は皆、サウルの後ろでおののいていた。サウルは、サムエルが命じたように、七日間待った。だが、サムエルはギルガルに来なかった。」

# サウル王の失敗

- 勝手に献げ物をささげてしまったサウル王
  - 祭司にしか許されていない
  - ささげ終わったときサムエルが到着する
- 言い訳するサウル王
  - 大軍が目の前に迫っている
  - 兵士が逃げていく
  - サムエルが約束の日に来ない
- 預言者サムエルからの宣告
  - たとえ王であっても献げ物をささげてはならない
  - 主なる神の掟を守らなかったことにより、王権は剥奪される

# サムエル記上15章7～27節

サウルはハビラからエジプト国境のシュルに至る地域でアマレク人を討った。アマレクの王アガグを生け捕りにし、その民をことごとく剣にかけて滅ぼした。しかしサウルと兵士は、アガグ、および羊と牛の最上のもの、初子ではない肥えた動物、小羊、その他何でも上等なものは惜しんで滅ぼし尽くさず、つまらない、値打ちのないものだけを滅ぼし尽くした。主の言葉がサムエルに臨んだ。「わたしはサウルを王に立てたことを悔やむ。彼はわたしに背を向け、わたしの命令を果たさない。」サムエルは深く心を痛め、夜通し主に向かって叫んだ。

朝早く、サムエルが起きて、サウルに会おうとすると、「サウルはカルメルに行って自分のために戦勝碑を建て、そこからギルガルに向かって下った」との知らせが届いた。サムエルがサウルのもとに行くと、サウルは彼に言った。「主の御祝福があなたにありますように。わたしは主の御命令を果たしました。」…サムエルは言った。「あなたは、自分自身の目には取るに足らぬ者と映っているかもしれない。しかしあなたはイスラエルの諸部族の頭ではないか。主は油を注いで、あなたをイスラエルの上に王とされたのだ。主はあなたに出陣を命じ、行って、罪を犯したアマレクを滅ぼし尽くせ、彼らを皆殺しにするまで戦い抜け、と言われた。

何故あなたは、主の御声に聞き従わず、戦利品を得ようと飛びかかり、主の目に悪とされることを行ったのか。」サウルはサムエルに答えた。「わたしは主の御声に聞き従いました。主の御命令どおりに出陣して、アマレクの王アガグを引いて来ましたし、アマレクも滅ぼし尽くしました。兵士が、ギルガルでああなたの神、主への供え物にしようと、滅ぼし尽くすべき物のうち、最上の羊と牛を、戦利品の中から取り分けたのです。」サムエルは言った。「**主が喜ばれるのは／焼き尽くす献げ物やいけにえであろうか。むしろ、主の御声に聞き従うことではないか。見よ、聞き従うことはいけにえにまさり／耳を傾けることは雄羊の脂肪にまさる。反逆は占いの罪に／高慢は偶像崇拜に等しい。主の御言葉を退けたあなたは／王位から退けられる。」**

# サウル王、2度目の失敗

- アマレクに出兵し、大勝利を得たサウル王
  - アマレクは出エジプトの際、戦いを挑んできた
- 主は何一つ残さず滅ぼすよう命じておられた
  - 「行け。アマレクを討ち、アマレクに属するものは一切、滅ぼし尽くせ。」15:3
- 値打ちのある物を残したサウル王
  - 「上等なものは惜しんで滅ぼし尽くさず、つまらない、値打ちのないものだけを滅ぼし尽くした」
- サムエルによる叱責
  - “あなたは一般人ではない。人々の模範となるべき王ではないか！”

## • サウルの言い訳

- 言いつけ通り出陣し、アマレクを撃った
- 「兵士が」上等な戦利品を取り分けた
- 「主への供え物」にするためだった

## • サムエルによる宣言

- 「主が喜ばれるのは／焼き尽くす献げ物やいけにえであろうか。むしろ、主の御声に聞き従うことではないか。」
- 「反逆は占いの罪に／高慢は偶像崇拜に等しい。主の御言葉を退けたあなたは／王位から退けられる。」

# サウル王はなぜ失敗したのか

## • 最初の失敗

- 目の前の大軍
- 逃げ出す兵士
- 遅れる助け

不安・パニック

## • 2度目の失敗

- 大勝利
- 高価な戦利品

成功・欲

## • 共通する失敗

- 主なる神の掟(命令)に従わなかった
- 言いわけし、他人のせいにした

←エデンの園から変わってない！

主が喜ばれるのは／焼き尽くす献  
げ物やいけにえであろうか。むしろ、  
主の御声に聞き従うことではないか。  
見よ、聞き従うことはいけにえにま  
さり／耳を傾けることは雄羊の脂肪  
にまさる。